

K A Y A

2022
10
/ 4
[TUE]
|
12
/ 11
[SUN]

国立歴史民俗博物館 企画展示室A

国際企画展示
Special Exhibition

加耶

古代東アジアを生きた、ある王国の歴史



◎主催 国立歴史民俗博物館、大韓民国国立中央博物館、九州国立博物館 ◎開館時間 9時30分～16時30分（入館は16時まで）
◎休館日 月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館） ◎入館料 一般1000円 / 大学生500円 ※高校生以下は入館料無料です。
※総合展示・くらしの植物苑もご覧いただけます。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、混雑状況により入場制限を行う場合があります。

加耶の王墓 高霊池山洞古墳群
写真提供：大韓民国国立中央博物館



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117
Tel.050-5541-8600（ハローダイヤル）
<https://www.rekihaku.ac.jp>
最新の情報はホームページ等をご確認ください。

加耶

古代東アジアを生きた、
ある王国の歴史

龍鳳文環頭大刀の 把頭

コリョンチサンドン
(高霊池山洞39号墳 6世紀前半)

把頭に龍や鳳凰の装飾
をとりつけた大刀。加耶
の王は、金銀の華麗な大
刀や耳飾りを各地の有
力者たちへ配布すること
で、政治的な関係を確認
しつつ、社会をまとめて
いたようである。



水晶製の頸飾り

キメヤンドンリ
(金海良洞里270号墓 3世紀)



加耶の前身、弁韓の有力
者が身につけたもので、中
央の水晶玉は長さ3cmに
達する。



金銅製の冠

大韓民国
指定宝物

コリョンチサンドン
(高霊池山洞32号墳 5世紀中頃)

大加耶の有力者が身につけた冠。
半円形の板の左右と上部に宝珠形
の立飾りが取り付くもので、全体に
細かい彫金が施されている。

日韓共同開催！ 古代王国、加耶の 至宝が 30年ぶりによみがえる。

日本列島の社会が倭とよばれていた頃、朝鮮半島の南部には、たがいに寄り添いながら成長をとげた国々がありました。これが加耶です。東アジアのさまざまな社会と交流を重ね、倭とも関係が深かった加耶の実態を、最新の調査・研究から明らかにしていきます。日本では、30年ぶりに加耶の宝物が一堂に会する展示です。大韓民国国立中央博物館および九州国立博物館との共催で開催します。

加耶の耳飾り

大韓民国
指定宝物

ハブチョンオクチョン
(陝川玉田M4号墳出土 6世紀前半)

耳にとりつける環の下に
華麗な飾りを垂らした
金製の耳飾り。山梔子
の実のような垂れ飾りは
大加耶の耳飾りの特徴
である。有力者のみが
装着できた。



青銅容器 銅鼎

どうかなえ

キメヤンドンリ
(金海良洞里322号墓 3世紀中頃に副葬)

加耶の前身、弁韓の有力者が中
国から入手したもの。製作は紀
元前1世紀頃とみられる。弁韓の
段階で活発な海上交易を行って
いたことがうかがえる。



写真提供: 大韓民国国立中央博物館

金官加耶の土器 長頸壺と鉢形器台

キメテソンドン
(金海大成洞1号墳 4世紀末～5世紀前半)

曲線的なプロポー
ションが特徴的で、
波状文、鋸歯文、
組紐文、半円コン
パス文など多様な
文様が施される。



大加耶の墳墓で 出土した倭の甲冑

コリョンチサンドン
(高霊池山洞32号墳 5世紀中頃)



加耶ではさまざまな階層の墳墓
に、しばしば倭の甲冑が副葬さ
れる。倭との緊密な関係を表象
する文物であったようだ。

※資料所蔵機関との調整により、出品資料が一部変更となる場合があります。

関連する催し物 ※事前申し込みが必要

◎第440回歴博講演会

「加耶—古代東アジアを生きた、ある王国の歴史—」
10月8日(土)

◎第441回歴博講演会

「中国と加耶と倭」
11月12日(土)

◎第442回歴博講演会

「加耶と倭の武器と武具」
12月10日(土)

時間:13:00～15:00

会場:本館講堂

同時開催

◎特集展示「印籠とたばこ入れ」

10月25日(火)～12月4日(日)
第3展示室

◎くらしの植物苑特別企画

「伝統の古典菊」

11月1日(火)～11月27日(日)

「冬の華・サザンカ」

11月29日(火)～2023年1月29日(日)

くらしの植物苑

開苑時間 9:30～16:30

(入苑は16:00まで)



【アクセス】・京成電鉄「京成佐倉駅」またはJR東日本「佐倉駅」下車
・東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分、国道296号沿
い(無料駐車場完備)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117

Tel.050-5541-8600(ハローダイヤル)

ホームページ、Twitterで当館の最新情報を配信しています。

<https://www.rekihaku.ac.jp>



次回予告

企画展示 「いにしえが、好きっ!—近世好古図録の文化誌—」 2023年3月7日(火)～5月7日(日)